

3年連続 経済産業省「DX 銘柄 2022」に選定! 「医・食・住」に関する社会的課題を解決する取り組みが高評価!!

株式会社トプコン（本社：東京都板橋区、代表取締役社長：平野 聡）は、このたび経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX 銘柄）2022」に3年連続で選ばれました。

DX 銘柄は、企業価値の向上につながる DX を推進するための仕組みを社内に構築し、デジタル技術を前提としたビジネスモデルそのものの変革及び経営の変革に果敢にチャレンジし続けている企業が選定の対象となります。当社は東京証券取引所の上場会社全社を対象とした今回の調査で、総合評価点の最も高い企業 33 社に選出されました。当社は経営理念に『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を掲げ、また「**尖った DX で、世界を丸く。**」をキャッチコピーに、グローバルマーケットで「医」、「食」、「住」それぞれの分野における社会的課題を DX ソリューションで解決し、サステナブルな社会づくりを推進しております。



DX 銘柄2022
Digital Transformation



経済産業省発表資料

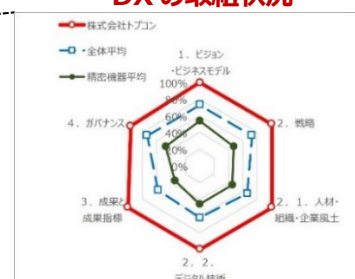
【評価ポイント】

当社は昨年の「食（農業）」、「住（建設）」分野への DX の取り組みに続き、本年度は「医（ヘルスケア）」の事業分野における眼科以外での眼病の早期スクリーニング（健診）実現による、シェアードケア・モデルの創出が DX ソリューションとして評価されました。

世界的な高齢化に伴う眼疾患の増加が社会的課題となっており、早期発見、早期治療が求められておりますが、世界で約 20 万人という眼科医不足が眼疾患の早期発見への課題ともなっています。

当社は、これらの課題に対し世界中で 300 万拠点にも上る、かかりつけ医、眼鏡店、ドラッグストア等を活用して、眼疾患のスクリーニング（健診）を実施可能な仕組みを作ると共に、スクリーニングによる検査データをクラウド上に蓄積し眼科医と連携できるプラットフォームを構築しました。これによりかかりつけ医や眼鏡店、ドラッグストア等での健診と眼科医での治療という、両者のデータ連携により、医療効率を高めた“シェアードケア・モデル”を実現します。

DX の取組状況



株式会社トプコン
(精密機器 / 7732)

尖ったDXで、
世界を丸く。

DX 銘柄2022
Digital Transformation

「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

トプコンの事業領域である「医・食・住」の分野は、それぞれ高齢化や人口増加に伴う社会的課題に直面しており、また大きな産業にもかかわらず、IT化や自動化が遅れています。これらの社会的課題に対し、トプコンは光学やセンシング・制御技術などの独自技術を中心に、さらに、グローバルな組織体制で、IoTとネットワーク技術を活用したDXソリューションで解決することを中期経営計画に掲げて取り組んでいます。

【医】 世界的な高齢化に伴う眼疾患の増加

眼科医の不足
早期発見
早期治療

【食】 世界的な人口増加に伴う食料不足への対応

農業の工場化
生産性向上
収益向上

【住】 世界的なインフラ整備に伴う建設現場の人手不足

建設工事の工場化
生産性向上
収益向上

「眼科以外での眼病早期スクリーニング（健診）の実現による、シェアードケア・モデルの創出」

■ 医（ヘルスケア）：眼健診（スクリーニング）の仕組みづくり
世界的な高齢化の進行に伴い、一般に50歳代以降から増加する眼疾患が急増しています。三大眼疾患（糖尿病性網膜症・加齢黄斑変性・緑内障）は世界で3.5億人に到達。病状進行により一旦視覚障害に至ってしまうと、必要な生涯医療費は、一人あたり2,600万円にも上ることが、本人のQOL確保に加えて、医療費削減のために、眼疾患の早期発見・早期治療が社会的課題となっています。一方、眼疾患は自覚症状が出るまで眼科に行かないことが、早期発見を妨げています。また、眼科医は世界でも20万人足らずで眼科医の不足も大きな課題です。※世界平均

世界中で300万拠点にも上る、かかりつけ医・眼鏡店・ドラッグストア等を活用して、眼疾患のスクリーニング（健診）を実施可能にし、自覚症状が出る前に、眼疾患を早期発見できる仕組みの展開を図ります。早期発見された眼疾患については、クラウド上に蓄積されたこれまでの経過データとともに、眼科医に連携できるプラットフォームを創り、かかりつけ医・眼鏡店等での早期発見と眼科医での治療という、両者のデータ連携により、医療効率を高めた「シェアードケア・モデル」を実現します。※日本においては、医師不在の眼健診等は対象外

AI 自動診断
検査データ蓄積
データ連携
Cloud
TOPCON Healthcare

眼科医 早期治療
眼鏡店
かかりつけ医
ドラッグストア
早期発見

DX の取組状況

当社の事業の取組み

「医」社会的課題：世界的な高齢化に伴う眼疾患の増加

DXソリューション：眼健診(スクリーニング)の仕組みづくり

「食」社会的課題：世界的な人口増加に伴う食糧不足への懸念

DXソリューション：「農業の工場化」で営農サイクルを一元管理

「住」社会的課題：世界的なインフラ需要に伴う技能者不足

DXソリューション：「建設工事の工場化」でワークフローを一元化



(ご参考)

- 経済産業省 ニュースリリース：「DX 銘柄 2022」「DX 注目企業 2022」を選定しました

<https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220607001/20220607001.html>



- 東京証券取引所 マーケットニュース：「デジタルトランスフォーメーション銘柄 2022」の公表について

<https://www.jpix.co.jp/news/1120/20220607-01.html>



(参考情報：当社ニュースリリース)

- 経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX 銘柄) 2021」に連続選定(2021年6月7日発行)

<https://www.topcon.co.jp/news/2779/>



- 経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX 銘柄) 2020」に選定(2020年8月25日)

<https://www.topcon.co.jp/news/2887/>



- 経済産業省が定める「DX 認定事業者」に選定(2021年5月19日)

<https://www.topcon.co.jp/news/20210519-29401.html>



*DX : Digital Transformation

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

【株式会社トプコン概要】

代表者：代表取締役社長 平野 聡

設 立：1932年9月1日

資本金：16,706百万円（2022年3月末現在）

売上高：（連結）176,421百万円（2022年3月期）

上場証券取引所：東京証券取引所プライム市場〔証券コード：7732〕

社員数：（連結）5,248名（2022年3月末現在）

事業内容：ポジショニング（GNSS、マシンコントロールシステム、精密農業）、
スマートインフラ（測量機器、3次元計測）、
アイケア（眼科用検査・診断・治療機器、眼科用ネットワークシステム、眼鏡店向け機器）、
等の製造・販売

URL: <https://www.topcon.co.jp/>



株式会社トプコン 広報・IR 室

〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1 [TEL:03-3558-2568](tel:03-3558-2568)